



教育委員会より

「多久から発信！SDGs」

世界に平等な食事を

私たちのクラスでは、給食を減らしたり、残したりしないことを目標に取り組んでいます。食べ物を無駄にしないため、そして、栄養バランスを考慮した給食をきちんと摂取することで、健康を維持するためです。

世界では、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」の増加が深刻な問題となっています。調べてみると、世界ではみんなが十分に食べられる食料を作っているにもかかわらず、およそ八億二千八百万人、十人に一人が飢餓状態にあるといわれています。また、健康的な食事が得られていない人は三十一億人いるといわれています。先進国であるアメリカや日本などでは、多くの食料が廃棄され、発展途上国では貧困や自然災害、紛争などにより食料が足りなくなっています。このような状況の中で私たちにできることが、食品ロスを減らすことです。私たちの力だけで、発展途上国の食料問題を解決することは難しいですが、今私たちが食品を残さず食べれば、食品ロスを少しでも減らすことに貢献できると思います。特に給食は私たちにとって身近なものであり、食品について考え、行動することを学ぶことができます。私は9年生になり、給食を通して食品の大切さを改めて学ぶことができます。



私は、これから給食で学んだことを生かしながら、まだまだ残っている貧困による食品問題や先進国の食品廃棄問題について考えていきたいと思いました。

東原彦舎中央校 9年1組

川口 胡桃

連載

多久市の指定文化財(7)

「多久聖廟積菜」〔佐賀県重要無形民俗文化財〕

多久町一六四二番地(多久聖廟)

多久町の多久聖廟は多久市の歴史と文化を代表する文化財です。積菜とは、儒学の祖孔子を祀る孔子廟の祭典であり、多久では四代多久領主多久茂文により宝永5年(1708)に多久聖廟が創建され最初に行われて以来、春と秋の年2回絶えることなく執り行われています。孔子を祀る正式な儀式を積奠とい、「積」と「奠」は同じく供物を供える・並べることという意味です。積奠は家畜などの犠牲を供えますが、一方それを省き蔬菜を中心に供える略式を積菜とよび地方の孔子廟では積菜が行われました。多久の積菜は江戸時代に記された『積菜儀節』の手順に則り行われ、現在積菜を執り行う祭官には、多久市長や市議会議長、教育長、市内学校長などが扮します。献官・掌儀・贊者・祝者・司尊・執爵・執饌の祭官のほか、執事諸役、雅楽を奏でる伶人という役割があり、祭官は明代の深衣、伶人は直垂袴の衣装を着用します。多久聖廟積菜は昭和55年に文化財指定され、現在春は4月18日、秋は10月第4日曜日に行われます。(教育振興課)



▶多久聖廟積菜の祭官



▶孔子と四配像に供える供物

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆最後まで自分を信じ生きてゆく
それが私の使命なんです
野崎 隆幸
- ◆誰れを待つと云うにあらねど壺に挿す
花一輪の部屋に漂う
川浪 信子
- ◆テレビ消し読書する夜の静かさは
ページをめくる音のみぞ知る
梶原恵美子
- ◆命かけて生きし経験なき人が
戦争ごっこのように派兵す
尾形 節子
- ◆ゆつくりとスクールのバスが 出発す
この児童等の前途 穏やかであれ
浦野 嘉恵

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆幼き手返して上げて盆踊
本村 則子
- ◆抽出しに父の勲章終戦忌
富樫 明美
- ◆風もなく物音もなく初紅葉
武富 律子
- ◆吉野ヶ里太古の空の赤とんぼ
三塩不二子
- ◆盆婦省声のよく似し兄弟
大石ひろ女

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆独身の壁に染み入る 独り言
松下 修
- ◆痛む足さすつてくれる孫の指
高塚ちかこ
- ◆前夜祭本番よりも盛り上がる
田中 正春
- ◆見せびらかすポチがチラッと 血統書
井上 東子
- ◆母さんの手料理味は五つ星
大谷 和子